

**議会報告会 2022**  
**～議員と語ろう みらいトーク！～**  
**実施報告書**

**令和4年 11 月**  
**小矢部市議会**

## 目次

・概要	1
・当日進行表	2
・実施内容	3
・意見交換における各グループの内容まとめ	6
・アンケート集計結果（市民）	20
・報告会資料、開催案内チラシ	27

## 概 要

11月25日(金)に小矢部市議会 議会報告会 2022～議員と語ろう みらいトーク!～を実施しました。当日は市内外から55名の方にご参加いただきました。

目 的：議会基本条例に基づき、市民の皆様に、より開かれた議会を目指し、市民と地域課題の共有をするとともに、市民と議員が互いに地域課題への理解を深めるために開催するもの。

日 程：令和4年11月25日(金) 19:00～20:34

場 所：小矢部市民交流プラザ 多目的ホール

参 加 者：市民（市外参加者含む）	55名
市議会議員	15名
事務局職員	3名
傍聴者	3名（富山新聞、北日本新聞、ケーブルテレビ）

内 容：・議会からの報告  
・ワークショップ形式による意見交換（テーマ「少子化対策について」）

## 当日進行表

19:00	(開 会)
19:01~	1. 開会あいさつ (義浦英昭議長)
19:03~	2. 議員紹介
19:07~	3. 議会からの報告 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 総務産業建設常任委員会 (石間庄二 総務産業建設常任副委員長)</li><li>・ 民生文教常任委員会 (竹松豊一 民生文教常任委員長)</li><li>・ 総合計画特別委員会 (福島正力 総合計画特別委員長)</li><li>・ 交通観光特別委員会 (吉田康弘 交通観光特別委員長)</li><li>・ 委員会報告に対する質疑応答</li></ul>
19:34~	4. ワークショップ形式での意見交換 (テーマ: 少子化対策について)
20:33~	5. 閉会あいさつ (山室秀隆 副議長)
20:34	(閉 会)

## 実施内容

1. 開会にあたり、義浦議長があいさつをしました。
2. 市議会議員が参加者へ自己紹介を行いました。



3. 議会からの報告として、常任・特別委員会ごとに委員長、副委員長が報告を行いました。常任委員会は9月定例会、10月臨時会の審議議案等について、特別委員会は委員会の設立経緯や行政視察等について報告しました。また、報告後に参加者から質疑も受けました。



4. 意見交換では、市議会議員と市民が7グループに分かれて、少子化対策についてワークショップ形式で意見を出し合いました。最後に、出し合った意見をグループの代表者（市民）から発表してもらいました。



5. 閉会にあたり、山室副議長があいさつをしました。







意見交換における各グループの内容まとめ



## 第1グループ

### 【子育て】14項目

- ・ 保育料の無料化
- ・ 大学までの学費支援
- ・ 行政から学資支援
- ・ 子ども生まれたら〇〇円わたす
- ・ 交流人口増 例えは工場誘致、工業団地造成
- ・ 若者が働ける企業誘致
- ・ 働く場所を作る
- ・ 仕事のできる場所（時給が高い）
- ・ 3人目から壮大な支援
- ・ 産科を公設で
- ・ 人口増にするには（テーマ）子供産み（産科）、教育（授業料）、大学・高校・中学と働く場所、企業誘致、結婚
- ・ 子育て充実、2台目の軽四について自動車税を免除（義務教育の子供のいる世帯）
- ・ 高校生のあつたまる場所を提供する
- ・ ゆり籠から墓場までという事で、子育て、教育、働く場の一貫した地域にすること、定住人口増

### 【働く場所・住宅】8項目

- ・ 女性が住みたい街、女性にやさしい街
- ・ 住宅の提供
- ・ 子育て世代専用の住まい（無料）駅近くに
- ・ 子育て専用住居
- ・ 他市、他県から小矢部市に住みたいと思う市にしてほしい
- ・ 現金よりも現物（住宅）、ドラッグストア・スーパー
- ・ 子育て環境の整備（地区毎に歩いて行ける距離に公園整備）
- ・ 子供達が安全に遊べる空間作り

### 【婚活】4項目

- ・ 婚活イベント開催
- ・ 結婚してほしい（子供に）
- ・ 若者の出会いの場を作る
- ・ ヤングが小矢部市と住みたい魅力がある小矢部市に。若い方が興味ある娯楽施設（映画館）、スノーボードのできる場

### 【産科】2項目

- ・ 産前産後ママを守るサポート
- ・ 産科・小児科誘致を他市との連携

### 【教育】2項目

- ・ 教育の問題 小矢部市ならではの特徴ある教育、保育園、小学校、転居しても行かせたい教育施設
- ・ 女性の社会進出支援

### 【満足度調査】1項目

- ・ 満足度調査アピールする

### 【農地】1項目

- ・ 農地取得に行政支援

### 【国へ言う】1項目

- ・ 少子化とは何のことか？



## 第2グループ

### 【出会い・結婚】17項目

- ・ 出会いの場、独身男女で陶芸教室
- ・ 結婚するのが遅い→婚活推進を図る
- ・ 若者へのおせっかい
- ・ 男女の出会いを増やす
- ・ 独身男女でBBQ
- ・ 出会いイベントをもっと多く！
- ・ 縁結びに婚活サポートをもっと知ってもらう
- ・ 交流の場（スポーツ、芸能）を増やす
- ・ テーマごとに男女を募集して市内のボランティアに参加してもらう。
- ・ 出会いの場が少ない
- ・ 婚活よりももっとゆるい出会いの場を！
- ・ 交流の機会を増やす
- ・ 婚活
- ・ 結婚に対する意識が少ない
- ・ 独身男女でボーリング
- ・ 独身男女でスポーツ（2名ペアのもの）
- ・ 看護学校を誘致する

### 【子育て支援】8項目

- ・ 子育ては楽しいよとまわりの大人が伝える
- ・ 小学校、中学校の合併とスクールバスの活用
- ・ 子供への経済的補助
- ・ 子育て支援
- ・ 子供手当の支給
- ・ 若い人達への生活の財政支援
- ・ 誕生祝金を10万円出す
- ・ 教育の無料化

### 【教育】6項目

- ・ 学習機会、文化的活動→娯楽の拡充
- ・ 子育てしたいと思う教育があるまちに！（移住して子育てしたい）
- ・ 幼児教育の充実、子供のための教育（モンテッソーリなど）
- ・ 人生の計画を立てる（30才で子供が生まれるとすると20歳の時自分は何歳？）
- ・ 中高一貫校
- ・ 県外の大学、専門学校へ行っても小矢部市へ帰って働き結婚してもらいたい。

### 【職場】4項目

- ・ 職場中の保育施設への支援
- ・ 親が子供を産んでも仕事に戻れるように！
- ・ 働きながら子育てができるようなサービス力、周りの人の支援の重要性
- ・ 会社へ婚活支援

### 【くらしと地域】4項目

- ・ 企業の誘致により若い人を増やす
- ・ 定住の促進による若い人を呼び込む
- ・ 地域通貨による経済的補助
- ・ 地域みかUP

### 【産婦人科】2項目

- ・ 子供の産みやすい地域づくり→産婦人科の誘致
- ・ 産科を誘致する

### 【教育】【子育て支援】1項目

- ・ PTA行事等の時間的負担

### 【出会い・結婚】【子育て支援】【職場】1項目

- ・ 男性の家事・育児への参加、企業の支援の充実

### 【その他（未分類）】1項目

- ・ 子供はカードゲームばかり（男同士で）している



### 第3グループ

#### 【子育てへの支援】24項目

- ・ 少子化対策は今でも色々提案されているが、何故出生率が伸びないのか？ 色々な提案をまずは実行することが大切
- ・ 学童の時間が短い
- ・ 移住者増、産科病院
- ・ 子育て支援を増やす
- ・ 出産祝い金を出す 第2子にはさらに増
- ・ 出産祝い金支給 1子=10万、2子=15万、3子=20万、4子以降=30万
- ・ 教育費の無償化
- ・ ①徹底した子育て支援・予算をドーンとつける  
⇒PRすること、
- ・ ②兵庫県明石市や千葉県流山市の先進地事例は大いに参考となる⇒まねる
- ・ 3人目以降小学校無償化
- ・ 4人目出産で定年まで所得税免除
- ・ 産めば産む程、得をする制度の実施
- ・ 住宅ローンの無利子（妻年齢18～40才）
- ・ 市内の方への家、建物への支援
- ・ 子育て支援（中心）18才まで手厚く（予算化）
- ・ 出産時花よりお金
- ・ 4人目以降はファミリーカー
- ・ 3年間の有給育児休暇
- ・ 2年目以降、育児休業手当てが欲しい
- ・ 産婦人科がほしい
- ・ 産後ヘルプ事業実施
- ・ 不妊治療の保険適用
- ・ 発達障害へのサポート体制
- ・ 少子化対策と子育て支援との区分、多子世帯支援に特化!
- ・ 現在ある支援の一覧表の作成

#### 【婚活支援】5項目

- ・ 道徳教育で、結婚出産の大切さを学ぶ
- ・ 若い人の出会いイベントを増やす（婚活）
- ・ 婚活支援を増やす（予算）
- ・ 結婚祝い金を出す
- ・ 婚活を積極的に実施してもらいたい

#### 【魅力あるまち!!】8項目

- ・ 若者の働く場所が少ない
- ・ 仕事 雇用
- ・ 若い人の魅力がない町だから
- ・ 商店街の活性化
- ・ 若い人が誇れるまち!!若い子の遊び場が少ない
- ・ 3on3コート
- ・ スケートパークがほしい
- ・ 転出者防止 砺波に行かせない施策（原因伴う）

結婚支援

みんなあるまち!!



子育ての支援

3班



## 第4グループ

### 【まちの魅力】13項目

- ・ お店の喫茶店などを多く
- ・ 遊び場所
- ・ 遊ぶ、食べるを親子でできる施設
- ・ 娯楽用の店の充実（カラオケとか）
- ・ 女性にとって魅力のある街
- ・ 雨天でも親子で遊べる施設があるとよい
- ・ すずらん通りに若い人が店を出しやすいように支援
- ・ 石動駅に売店が欲しい
- ・ 小規模なにぎわいの創出
- ・ おしゃべりの場
- ・ 無料のWi-Fi（若い人向け）
- ・ 移住したくなる魅力ある街づくり
- ・ Wi-Fi

### 【結婚・育児】8項目

- ・ 子供の食費支援
- ・ 結婚
- ・ 婚活の充実
- ・ 子育てしやすい環境づくり
- ・ 子供を産み育てたくなる動機
- ・ 子育て世代が住みやすいまちづくり
- ・ 子供がいる世帯用の住宅地
- ・ 見守り

### 【職場】8項目

- ・ 若い女性の働く場
- ・ 若い人の職場
- ・ 企業への働きかけ、若者採用
- ・ 地元の仕事が少ない
- ・ 所得
- ・ 若い人の働く場
- ・ 若い世代（女性）が起業できる
- ・ あまり勉強をしない

### 【精神・気持ち】5項目

- ・ 女性に従順に
- ・ 地域行事を減らす
- ・ 総合的な問題
- ・ 気持ちにゆとりを持てる
- ・ ゆるい人間関係

### 【移住】5項目

- ・ 移住支援 100万円を続けてほしい
- ・ 住宅地の造成
- ・ 転入を増加する
- ・ 転入者の支援増強
- ・ 人が交流しやすい

### 【交通】4項目

- ・ 通学路の見守り
- ・ あいの風便の増加
- ・ 公共交通の利便性
- ・ 公共交通の充実



## 第5グループ

### 【子育て支援】12項目

- ・給食費無償化
- ・子育て支援負担軽減
- ・子供の多い家庭を表彰する
- ・子供支援（税制）（子育て）
- ・保育所の延長保育を
- ・共同保育制度（無料化）
- ・育児費用の助成
- ・子育て支援（第1子2万、第2子3万、第3子5万の子供手当をつける）
- ・学童の充実、保育の充実
- ・3人産んだら大学まで授業料無料
- ・返還不要の奨学金
- ・奨学金とか

### 【結婚支援】6項目

- ・未婚、晩婚対策（お見合い相談所）
- ・結婚支援（行政が今流行のマッチングアプリのサイトを活用する）
- ・出会いの場を作ってあげる
- ・出会いの場の提供
- ・経済支援（結婚相手に出会えない男女に良縁を作ってあげる）
- ・未婚男女の出会いの場（今までと違う婚活）

### 【子どもの環境】5項目

- ・遊ぶ場所
- ・子供の図書館、跡地の子供の居場所としての活用
- ・子供の遊び場
- ・子供の居場所
- ・ゲームセンター等を誘致する

### 【働き先】4項目

- ・起業を誘致する
- ・就職口の雇用、大卒女子の地元の雇用先を作る
- ・共働き家庭（勤務先がある）
- ・Uターン者を増やす

### 【産科・妊産婦】3項目

- ・産科
- ・出産祝いお祝い事業
- ・妊産婦の経済負担軽減

### 【住宅】3項目

- ・若者の集まる街づくり（住宅支援）
- ・若い夫婦の移住促進（子育て支援策の拡充で）
- ・住宅団地の提供

### 【郷土愛】2項目

- ・郷土愛醸成（各団体の消滅により町内会員同士の意識の希薄化）
- ・小中学生に郷土史を教え、愛着を持たせる

### 【その他（未分類）】5項目

- ・移民を受け入れる
- ・行政と民間の連携
- ・独身税の導入
- ・若者の意識改革（家庭を持つ楽しさ、意義の普及）
- ・ジタバタしない。人口はいずれ安定するからそんな社会にする



## 第6グループ

### 【群1】16項目

- ・人が集まる楽しい場所づくりをする
- ・居住するには土地がたかいのでは、売る意思が少ないのでは
- ・子連れファミリーが楽しめる場所が少ない
- ・社会人（成人）になって大学、就職先を遠方に行き、出たいのでは
- ・子ども達が行きたい学校を作る
- ・税金が高い
- ・となりの市と比較して、食事店が少ない、大型店が無い
- ・住み良い小矢部を造る方法は？ 税金を少し下げる、補助金をもっと多く
- ・小矢部市の魅力度アップ（流入人口増のため）
- ・県内の魅力度アンケートで全部門、小矢部市が入らず
- ・流入人口対策の施設整備やイベント etc は、実施者、主催の自己満足で他市からは評価が低いのでは
- ・歩道の除雪の強化
- ・道路の整備
- ・特に問題だと思わない、年寄りだから
- ・独身者の子供の待遇改善強化
- ・外国人、他所からの受入れ条件の緩和

### 【群2】7項目

- ・結婚しない人が多いので、出会いの機会を多くする
- ・婚活の推進
- ・お見合いの機会を増やす
- ・子どもが生まれやすい環境を作る
- ・若い女の人に移住促進
- ・空家に移住してもらう
- ・若い人達が移住できる施策（空家の紹介）

### 【群3】4項目

- ・子ども手当（児童手当）を引き上げる
- ・2人目、3人目の子どもに係る経費、給食費、学級費、医療費すべて公費でまかなう
- ・学校給食費を無料にする
- ・子供、孫にお金がかかる

### 【企業】5項目

- ・地元企業がない
- ・もっと大企業を誘致する
- ・企業誘致（若い人が働ける企業）
- ・働きやすい環境の整備
- ・若者が働く場 農業など（有機農業）未来が見える働き方を提供する

### 【女性】4項目

- ・出生数を上げる
- ・家庭の中で全員で家事を分担する
- ・女性の賃金を上げる
- ・産科がない

### 【群4】2項目

- ・学童保育員の充実、内容、放課後、長期休み利用しやすく
- ・未就学児も就学児も土日とか遊べる児童館をつくる

### 【その他（未分類）】2項目

- ・子ども達に小矢部の課題を伝える
- ・少子化問題の現状を小学生の時から学校の授業に取り入れ

子ども事件  
(児童虐待)  
未引上げ

20日 3月  
子どもに  
被害を受けた  
場合、児童相談所  
に通報し、必要  
に応じて保護

児童虐待  
被害を受けた  
場合、児童相談所  
に通報し、必要  
に応じて保護

児童虐待  
被害を受けた  
場合、児童相談所  
に通報し、必要  
に応じて保護

結婚しない  
方が、一生の  
幸福になる

子どもが  
虐待を受けた  
場合、児童相談所  
に通報し、必要  
に応じて保護

婚活の  
推進

若者の  
婚活支援

空室の  
活用

若い人達  
移住する  
施策  
(定住支援)

若者の  
移住支援

高齢者への  
下人が小規模  
な施設に入居し  
るのを支援する  
必要

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

高齢者の  
生活支援

子どもの  
生活支援

子どもの  
生活支援

子どもの  
生活支援

出生  
率

出生  
率

出生  
率

出生  
率

出生  
率

出生  
率

出生  
率

出生  
率

出生  
率

出生  
率

子どもの  
生活支援

## 第7グループ

### 【産業の確立】10項目

- ・若い人達に小矢部で住んでもらえるよう働きかける
- ・移住者が来たいと思う市にする
- ・小矢部市へ帰ってくる、来たくなる ふるさと教育
- ・若い夫婦の市内への移住を支援する
- ・転入者を増やす。小矢部市を好きになってもらうよう働きかける
- ・若い人が働く場所（帰ってきてから）
- ・移住定住支援、多子世帯を応援する
- ・泊まる場所、宿泊施設が必要
- ・企業誘致 500人規模（特別区）
- ・市内、県内で働きたい場所をたくさん作る

### 【環境整備】8項目

- ・夜をにぎやかに
- ・遊ぶ場所（お買い物）がない
- ・遊ぶところをつくる
- ・若い人たちが住みやすいまちづくり
- ・道路整備、インターまわり
- ・スポーツバー、音楽、ジム
- ・自慢できるまちにする
- ・人と関わる酒場

### 【出会い・婚活】8項目

- ・若者が集う場所
- ・出会いの場所（お食事、茶店）を増やす
- ・マッチングアプリ
- ・出会いの場
- ・男女の交流
- ・出会いの場施策、有料ではなく無料でできないか（市の補助）
- ・未婚率を下げる、結婚適齢期が20歳→30歳に変更されてきている
- ・若い人が集まる場所（趣味、食べ処）

### 【子育て支援】8項目

- ・子供をたくさん産める環境づくりが必要（お金があまりかからない）
- ・保育料無償化
- ・子育て支援、出生祝金を増額する
- ・出生率をあげる、共働きができるように手助けをする
- ・仕事と子育ての両立
- ・子育て支援の充実、3才未満児の保育料無料化
- ・第2子、第3子に支援金支給
- ・産婦人科がない

### 【結婚促進事業】5項目

- ・未婚者対策
- ・婚活支援を充実させる
- ・同級生30歳の成人式以降は毎年実施
- ・市内に勤務する若い人が交流する機会を増やす、つくる
- ・市主催の婚活パーティーをもっと開催し、カップルを支援する



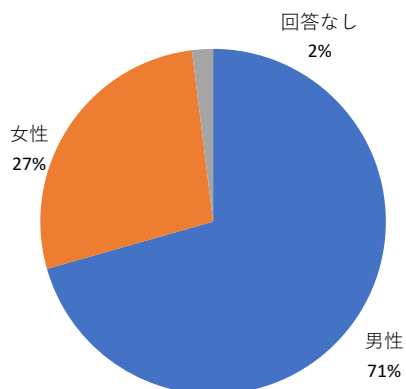


## アンケート集計結果（市民）



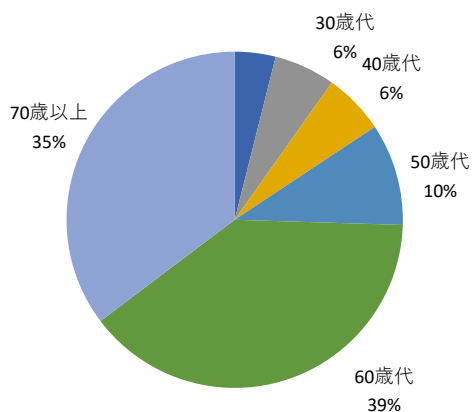
1 あなたの性別は

男性	36人
女性	14人
回答なし	1人
計	51人



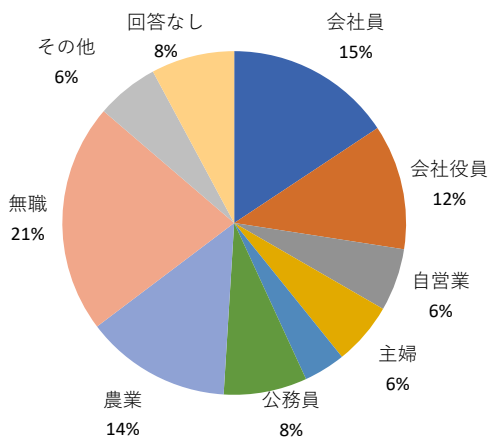
あなたの年齢は

10歳代	2人
20歳代	0人
30歳代	3人
40歳代	3人
50歳代	5人
60歳代	20人
70歳以上	18人
回答なし	0人
計	51人



あなたの職業は

会社員	8人
会社役員	6人
自営業	3人
主婦	3人
学生	2人
公務員	4人
農業	7人
無職	11人
その他	3人
回答なし	4人
計	51人

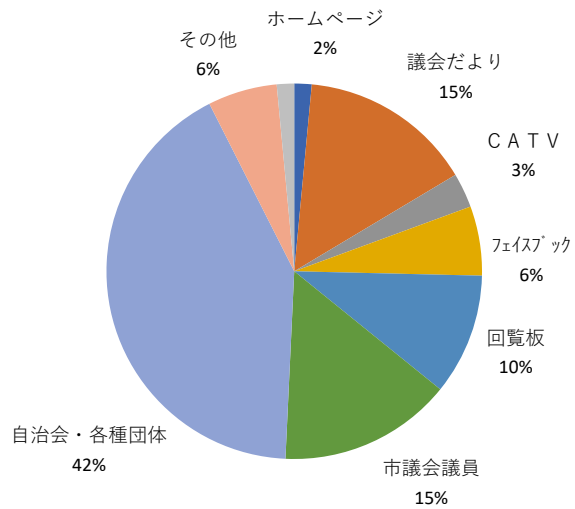


令和4年度小矢部市議会 議会報告会アンケート

2 本日の議会報告会は何でお知りになりましたか。(複数回答あり)

ホームページ	1人
議会だより	10人
CATV	2人
フェイスブック	4人
回覧板	7人
市議会議員	10人
自治会・各種団体	28人
その他	4人
回答なし	1人
計	67人

※その他のうち3人は石動駅前でのチラシ配り

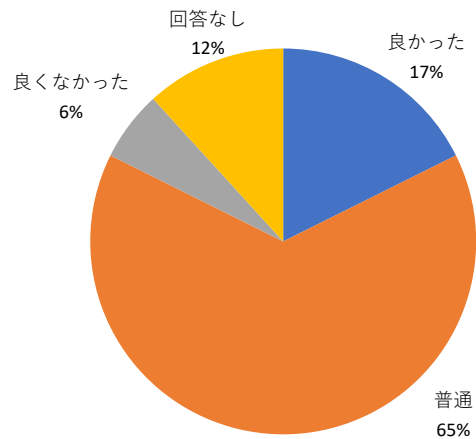


3 議会からの報告会の内容はいかがでしたか。

良かった	9人
普通	33人
良くなかった	3人
回答なし	6人
計	51人

【工夫すべき点】

- ・時間の都合もあったと思いますが、もう少し具体的な内容を聞かせていただき良かった。
- ・一方的
- ・議員の思いを聞きたい。
- ・パワポの意味がないパワポだった。
- ・時間が少なく詳細は聞けなかった。
- ・分からないワードが多かったので、資料にまとめてあれば良かったと思います。



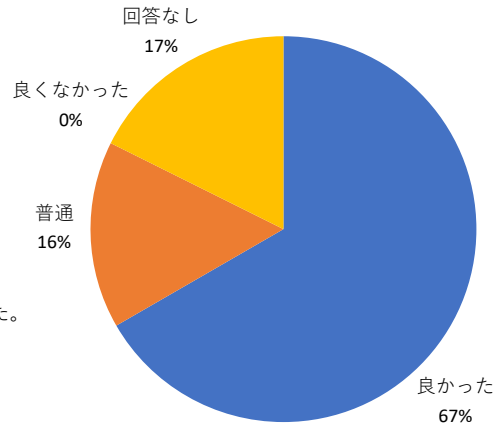
令和4年度小矢部市議会 議会報告会アンケート

4 意見交換会の内容はいかがでしたか。

良かった	34 人
普通	8 人
良くなかった	0 人
回答なし	9 人
計	51 人

【工夫すべき点】

- ・アウトプットより経過がよかった。議員と気軽に話げできた。
- ・マスクで声が聞こえない。
- ・多くの年代が集い、ディスカッションする場がよかった。
- ・具体例がなく、そもそも論（政府の問題？）が出てきた。
- ・少子化対策というテーマでしたので、参加者は若い方に絞った  
ら良かったのでは。
- ・時間がなく意見がまとまらない。
- ・テーマに合った年齢、参加者にしてほしい。

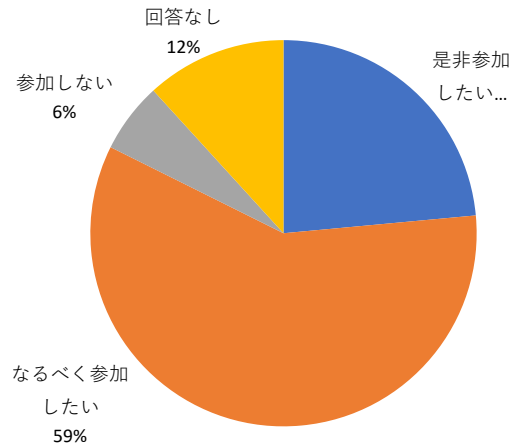


5 次回の議会報告会にも参加したいと思いますか。

是非参加したい	12 人
なるべく参加したい	30 人
参加しない	3 人
回答なし	6 人
計	51 人

【参加しない理由】

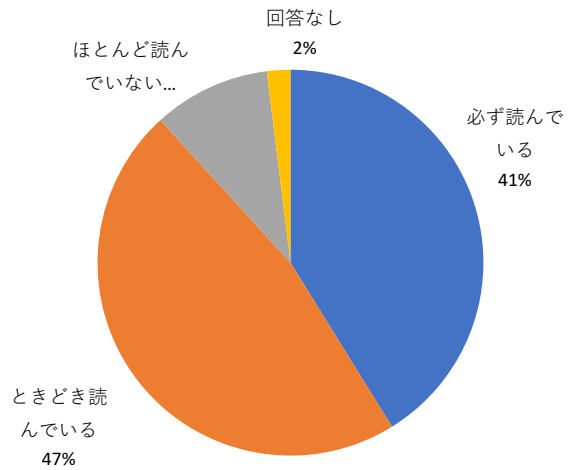
- ・自分の意思での参加でなかった。
- ・進行についていけない。



令和4年度小矢部市議会 議会報告会アンケート

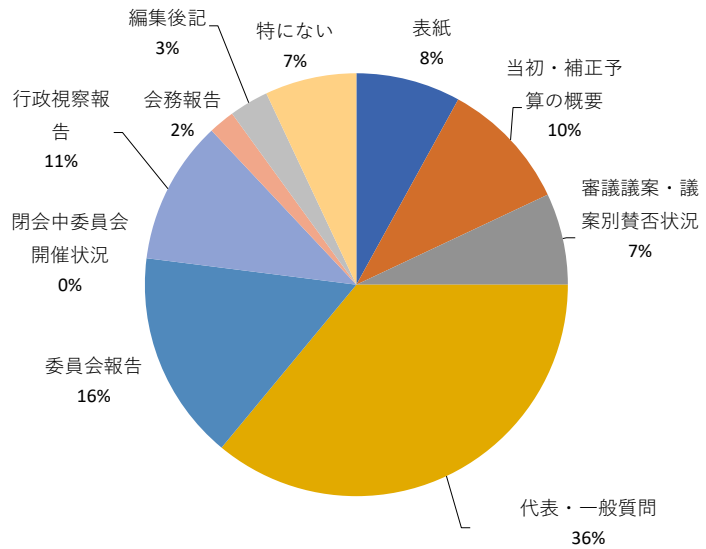
6 議会だよりを読んでいますか。

必ず読んでいる	21人
ときどき読んでいる	24人
ほとんど読んでいない	5人
回答なし	1人
計	51人



7 議会だよりで特によく読まれるものは何ですか。(複数回答あり)

表紙	8人
当初・補正予算の概要	10人
審議議案・議案別賛否状況	7人
代表・一般質問	36人
委員会報告	16人
閉会中委員会開催状況	0人
行政視察報告	11人
会務報告	2人
編集後記	3人
特にない	7人
計	100人



令和4年度小矢部市議会 議会報告会アンケート

8 議会報告会の開催についての意見（自由意見）（順不同） ※以降、1人ごとの意見を区分線で分けています。
・毎年参加する顔ぶれが同じようですね。
・子育て支援
・グループでの話し合いでできたテーマについて、次回はそれを深める討議にすればいいと思います。
・有意義な報告会でありました。
・あればいいと思う。
・従来通り各地区に分かれて報告会を開催したほうが参加者が多くすることができたのではないのでしょうか。
・重点を絞って話をしてほしい。
・ワークショップ形式がよかったので、次回も続けてほしい。
・良かったんですが、もう少し若い人の参加があれば良かった。半数以上が高齢者かな？
・ワークショップで他の班と声が重なり聞きづらい
・大変よかった！
・報告回数が少ない。
・時間が短いので、あと30分長くすること。
・議員さんの発言は責任をもって、その範囲の言にとどめること。
・時間がちょうどよかったです。
・ワークショップはよかった。和やかに真剣に意見交換できた。
・さまざまな視点からの意見を知ることができたので、より市政に興味を持てたので、さらにワークショップを開催してほしい。
・高校生が参加されていてとても良かったです。全体の年齢層が高いので、今回のテーマに沿うのであれば若い世代に参加していただく工夫があれば良いと思います。
・議会は年4回行われている。3回以上は市民に議会内容をより詳しく報告されるといいと思う。
・若い人が参加しないと意味がない。半分は10、20、30代に。
・チーム内の声が聞こえない。
・テーマを変えて年2回あってもいいのでは？
・ワークショップの意見の集計をお願いします。
・40歳以下の人だけでワークショップしましょう。
・報告会を行うのは良い機会でありますし、市民と議会の関わりが密になる良い場であると思います。文書での報告よりも出席することへの意味を感じます。

9 意見交換会のテーマとして取り上げて欲しいものについての意見（自由意見）（順不同）
・テーマに対する意見交換の参考となるたたき台となる意見をもとにして、テーマを掘り下げていくものも良いのでは。
・小矢部市の観光促進
・企業の誘致について
・空き家活用
・デジタル化によるまちづくり
・小矢部の魅力をもっと発信して外から移住者を呼び込み ・労働環境、企業誘致、定住サイクル一貫性
・次回も子育てで支援で！
・魅力あるまちづくり
・産婦人科を検討してもらいたい ・選択と集中で積極的に取り組んでももらいたい。（少子化）「人、物、金」の生きた行動を！
・議員の具体的な計画案
・魅力ある小矢部
・住みたい小矢部市をみんなの手で積み上げて楽しいものとしたいです。
・少子化とはについて
・人口増対策 ・高齢者福祉増進
・ワークショップはいいと思うが、交通整理（意見）が必要かも。
・福祉 ・教育（大人からでなく、子供のための教育の在り方）
・景観の維持（アウトレット近くに3階建てのものが建てている途中ですが、非常に景観が悪くなった。） ・商業施設の乱立（人が減っているのに住宅地が増えて、農地は減っている。将来が不安。建物を作って壊すのも大変。）
・小矢部の観光事業について（人を呼び込むための工夫、クロスランドや石動駅周辺の土地の活用）
・議員定数削減について、各議員の方がどのように考えておられるのか。
・少子化とか漠然としているので、学校統合とか、空き家対策とか、ひきこもりとか具体的なテーマで。
・異性への興味増中 ・小矢部市の魅力強化
・駅前計画！スーパー、ドラッグストアばかりじゃない！
・観光への小矢部市、観光客を増やす宿泊施設充実
・今回のテーマの少子化対策を議題にするのであれば年齢層が高すぎると感じました。



令和4年度小矢部市議会 議会報告会アンケート

10 市議会、議会だよりに対する意見（自由意見）（順不同）
・他市の広報を参考にされてね？
・クリーンな行政を期待します。
・若い人が参加されていたことはすばらしく思います。 ・議員さんはもう少しアピールしていただきたい。 ・議会報告部分をもう少し分かりやすく。
・今会の少子化対策は市活性化No. 1テーマであり、最近メディアで知ったのですが、日本で注目されている岡山県奈義町自治で2002年の出生率が1.4→現2.89で日本モデルになっているようで、町長が子育て支援を最優先に予算を配分し、諸施策を実施してモデルになるような成果を上げている。参考にされるべきでないか！ ・八方美人な自治（行政）では、少子化を上向きに上昇するのは無理。市長、公約変換させる！
・毎回楽しく読ませていただいております。
・活字のポイントを大きく、読みやすく（ゴシックにはなっているが）
・今回のワークショップは次につながるものに、ぜひしていただきたいと思います。
・市（や農協）からのおたよりの表紙が全部似ていて、どれがどれだか印象に残らない。思い切っているんなデザインにばらしてほしい。 ・明石市の子育て支援とのために削ったことが気になる。 ・市営バスの車の顔が怖い？ので、丸目にしてほしいです。
・今日のパワーポイントの内容や議会だよりの文章が難しく、読みにくいです。より簡潔な文章にしてほしい。
・たわいのない意見かもしれないけれども、少しでも住みよい小矢部、少子化対策を考えて人口を増やし歳入を増やしましょう。
・議員は市民の意見をしっかり受けとめ、実効性のある議会運営をされたい。職員との連携を大切にしながらも職員にけむたがられる議員活動を期待したい。
・年少者への問題認識強化（授業への取り入れ）



報告会資料、開催案内チラシ



# 議会報告会2022

## ～議員と語ろう みらいトーク！～

日時：令和4年11月25日（金）19：00～20：30  
場所：市民交流プラザ 多目的ホール

### 次第

1. 開会あいさつ
2. 議員紹介
3. 議会からの報告
  - ・ 総務産業建設常任委員会
  - ・ 民生文教常任委員会
  - ・ 総合計画特別委員会
  - ・ 交通観光特別委員会
  - ・ 委員会報告に対する質疑応答
4. ワークショップ形式での意見交換  
テーマ：少子化対策について
5. 閉会あいさつ

# 総務産業建設常任委員会

## 委員会構成

委員長 谷口 巧

副委員長 石間 庄二

中田 正樹 福島 正力

白井 中 吉田 康弘

山室 秀隆 上田由美子

## 担当課

### ●企画政策部

企画政策課・定住支援課・デジタル推進課

### ●総務部

総務課・財政課・税務課・行政マネジメント課

津沢コミュニティプラザ

### ●産業建設部

農林課・稲葉山牧野・都市建設課

商工観光課・上下水道課

### ●会計課

## 9月定例会 可決事項

### 議案第33号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

- ▶ 歳入歳出補正額（全体）975,424千円
- ▶ 総務費 補正額 803,827千円 ※民生文教常任委員会所管分を除く
  - 情報管理費（市ホームページシステム構築等） 50,962千円
  - 財政調整基金積立 480,000千円
  - 減債基金積立 170,000千円 等

令和4年度末 財政調整基金残高見込み 1,173,218千円

令和4年度末 減債基金残高見込み 272,538千円

## 9月定例会 可決事項

### 議案第33号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

- ▶ 農林水産業費 補正額 15,075千円
  - 生産調整推進対策事業費（発酵鶏糞散布補助拡充）
  - 畜産振興費（畜産事業者助成）等
  
- ▶ 商工費 補正額 8,574千円
  - 商工業振興対策費  
（用途地域内における新規事業及び既存店舗の改装助成）
  
- ▶ 土木費 補正額 8,500千円
  - 道路維持補修費  
（令和3年度の大雪の影響による道路補修費の増大対応等）

## 9月定例会 可決事項

### 議案第36号 小矢部市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

- ▶ 育児休業の取得回数制限の緩和
- ▶ 子の出生後8週間以内の非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和
- ▶ 子が1歳以降の非常勤職員の育児休業の取得の柔軟化

## 9月定例会 総務産業建設常任委員会報告

- ▶ 一点目は、事業者支援について、現在の肥料・飼料価格等の高騰を受けて、農畜産業に対して、一部支援策を講じられたところであるが、今後も動向を注視し、市内事業者へ必要な対策を講ずること。また、発酵鶏糞等の有効活用など、地域の特色を活かした循環型農業のさらなる推進に努めること。
- ▶ 二点目は、市ホームページの再構築について、セキュリティ対策に万全を期すとともに、利用者にとって使いやすくわかりやすいホームページにすること。さらに、今後のデジタル技術を活用した市民サービスの向上を見据えたシステムを構築すること。
- ▶ 三点目は、防災体制の充実について、関係団体等との連携を強化し、地域における総合的な防災力の向上に努めること。特に、不安が大きい高齢者等の避難体制について確認するとともに、しっかりと周知を図ること。

## 10月臨時会 可決事項

### 議案第38号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）

- ▶ 歳入歳出補正額（全体） 296,902千円
  - ▶ 農林水産業費【農林課】 補正額 300千円
- 土地改良振興事業費
- ・対象者：小矢部市土地改良区等
  - ・対象施設：高圧電力の契約を行っている農業用水利施設
  - ・支援金：令和4年4月～9月における前年からの増嵩額
  - ・補助率：2分の1（上限額30万円）



## 10月臨時会 可決事項

### 議案第38号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）

▶ 商工費【商工観光課】 補正額：50,300千円

#### ○商工業振興対策費

- ・対象者：下記①～④のすべてに該当するもの
  - ①市内に事業所を有する事業者であること。
  - ②電力供給の契約が高圧又は特別高圧であること（事業用に限る）。
  - ③令和4年4月～9月までの任意の1月の電気料金について、前年同月比の増高額に12月を乗じた金額（年間影響額）が20万円以上であること。
  - ④本市から物価高騰対策を目的とした類似の補助金を受給していないこと。

・支援金の支給基準：

年間影響額（1月分増高額×12月）	支援額
60万円以上の場合	30万円
40万円以上60万円未満の場合	20万円
20万円以上40万円未満の場合	10万円

# 民生文教常任委員会

#### 委員会構成

委員長 竹松 豊一  
副委員長 山田 吉晴  
嶋田 幸恵 石田 義弘  
藤本 雅明 義浦 英昭  
加藤 幸雄 林 登

#### 担当課

●民生部  
市民課・生活環境課・健康福祉課  
社会福祉課・こども課  
●教育委員会  
教育総務課・文化スポーツ課

## 9月定例会 可決事項

### 議案第33号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

#### ▶ 公共交通対策事業費【生活環境課】 補正額 1,214千円

##### ○路線バス・タクシー燃料価格高騰対策支援事業費

- ・対象者：①路線バス事業者 674千円  
②タクシー事業者 540千円
- ・支援金：燃料価格高騰分の2分の1（県との協調支援）

#### ▶ 生活環境衛生事業費【生活環境課】 補正額 1,393千円

##### ○公衆浴場衛生設備改善等補助金（臨時特例措置拡充分 1,010千円）

- ・対象施設：公衆浴場施設
- ・補助率：3分の1
- ・改修内容：ボイラー、シャワー、熱交換器、配管設備

## 9月定例会 可決事項

### 議案第33号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

#### ▶ 障害者福祉推進事業費【社会福祉課】 補正額 2,150千円

##### ○障害福祉事業所燃料価格高騰対策支援事業費

- ・対象者：市内障害福祉事業所
- ・支援金：①入所施設（1施設当たり300千円×1施設） 300千円  
②通所施設等（1施設当たり100千円×18施設） 1,800千円
- ・事務費：50千円

#### ▶ 介護保険制度事業費【健康福祉課】 補正額 6,050千円

##### ○介護保険事業所燃料価格高騰対策支援事業費

- ・対象者：市内介護保険事業所
- ・支援金：①入所施設（1施設当たり300千円×10施設） 3,000千円  
②通所施設等（1施設当たり100千円×30施設） 3,000千円
- ・事務費：50千円

## 9月定例会 可決事項

### 議案第33号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

▶ 児童福祉対策費【こども課】 補正額 4,621 千円

○インフルエンザ予防接種助成費

・ 拡充内容：①小中学生への助成費用の拡充（当初予算）1,000 円 ⇒ 3,000 円

②高校生等への助成費用の追加（当初予算）補助なし ⇒ 3,000 円

【参考：生後6か月から未就学児まで（県10/10）・・・・・・3,000 円】

▶ 学校管理運営費 【教育総務課】 補正額 6,624千円

○小中学校の校外学習等における新型コロナウイルス感染症対策

①小学校：583 千円 ②中学校：2,283 千円

○修学旅行キャンセル保険料（生徒191人分） 251千円

○蟹谷小学校非常階段修繕工事費 1,130千円

○学校図書購入費 1,000千円

○スクールバス修繕料 1,377千円

## 9月定例会 可決事項

### 議案第33号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第2号）

▶ 学校給食センター管理運営費【教育総務課】 補正額 11,373千円

○新学校給食センター基本計画策定支援事業費 2,000千円

○学校給食食材費負担軽減事業 9,373千円

・ 助成額：1食あたり24円（小学校：400円/月、中学校：500円/月）

・ 年間提供給食数：390,539食

▶ スポーツ振興事業費【文化スポーツ課】

○ジュニアスポーツ連携支援事業費 補正額 1,200千円

### 議案第34号 令和4年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

### 議案第35号 令和4年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

## 9月定例会 民生文教常任委員会報告

- ▶ 一点目は、マイナンバーカードの普及促進について、交付率向上のため出張申請サポートや出張申請受付は今後も継続して実施するとともに、市内の各団体へ積極的に呼びかけ一件でも多くの申請に結び付くように努めること。また、国のマイナポイント事業のカード申請期限が十二月末まで延長されたことをPRに活用するなど、より効果的に事業を推進していくこと。
- ▶ 二点目は、長期化する原油価格・物価高騰対策について、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、生活に困窮する世帯及び子育て世帯に対し、地方創生臨時交付金を活用した生活支援ができないかしっかりと検討すること。
- ▶ 三点目は、剪定枝処理機貸出事業について、ゴミの減量化対策として有用と考えられることから、引き続き、効果検証に取り組みながら事業を実施すること。また、利用者に対して処理機使用に関する事前説明を十分に行うなど利用者の安全対策を徹底すること。

## 10月臨時会 可決事項

### 議案第38号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）

- ▶ 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費【社会福祉課】  
補正額 109,412千円
  - ・ 給付金：1世帯当たり5万円×2,000世帯 100,000千円
  - ・ 給付事務費：9,412千円
  - ・ 対象世帯：①令和4年度住民税非課税世帯  
②令和4年1月以降の家計急変世帯
  - ・ 支給開始日：令和4年12月中旬（予定）
- ▶ 地域医療体制整備事業費【健康福祉課】 補正額 2,800千円
  - 医療機関物価高騰対策支援事業費
    - ・ 対象者：市内医療機関
    - ・ 支援金：①入院施設がある施設（1施設当たり300千円×2施設） 600千円  
②通院施設のみの施設（1施設当たり100千円×22施設） 2,200千円

## 10月臨時会 可決事項

### 議案第38号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）

#### ▶ 児童福祉対策費【こども課】 補正額 16,022千円

##### ○子育て世帯へのお米引換券配布事業費

- ・事業費：1枚当たり7千円×2,200世帯 15,400千円
- ・事務費：622千円
- ・配布対象者：18歳以下の子どもがいる世帯
- ・引換数量：小矢部市産米20kg（精米後コシヒカリ、令和4年産米）
- ・引換開始日：令和4年12月上旬（予定）

#### ▶ 民間保育施設運営費【こども課】 補正額 2,996千円

##### ○民間保育施設物価高騰対策支援事業費

- ・支給対象者：市内民間保育施設
- ・支援金：①食材費高騰分（児童1人当たり6,480円×416人） 2,696千円  
②光熱費高騰分（1施設当たり10万円×3施設） 300千円

## 10月臨時会 可決事項

### 議案第38号 令和4年度小矢部市一般会計補正予算（第3号）

#### ▶ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費【健康福祉課】 補正額 80,700千円

##### ○ワクチン接種経費 46,602千円

##### ○ワクチン接種体制確保経費 34,098千円

- ・対象者：①オミクロン株対応ワクチン（12歳以上の2回目接種完了者）  
②小児の3回目（5～11歳の2回目接種完了者）  
③乳幼児（6カ月～4歳）

#### ▶ 中学校管理運営費【教育総務課】

##### ○石動中学校ボイラー取替工事費 補正額 37,182千円

# 総合計画特別委員会

## 委員会構成

委員長 福島 正力

副委員長 加藤 幸雄

委員 嶋田 幸恵 藤本 雅明 竹松 豊一

林 登 上田由美子 石間 庄二

## 総合計画特別委員会の目的

第7次小矢部市総合計画前期実施計画（令和元年度～令和5年度）の検証を行い、第7次総合計画の後期実施計画（令和6年度～令和10年度）に反映させることを目的とする。

# 総合計画特別委員会の 開催スケジュールについて

- ▶ 第1回委員会 令和4年9月定例会 9月20日に開催
  - ・第7次総合計画後期実施計画の策定スケジュール及び今後の進め方等について
  - ・協議内容について 前期実施計画の「まちづくりの基本目標1～6」に基づいて実施。
- ▶ 第2回委員会 閉会中委員会 11月7日に開催
  - ・まちづくりの基本目標1 「魅力あふれる産業と経済活動のみなぎるまち」
- ▶ 第3回委員会 令和4年12月定例会 12月19日
  - ・まちづくりの基本目標2 「人をよびこむ都市空間と多彩な交流でにぎあうまち」
- ▶ 第4回委員会 閉会中委員会
  - ・まちづくりの基本目標3 「未来にやさしい環境と安全安心に暮らせる町」

# 総合計画特別委員会の 開催スケジュールについて

- ▶ 第5回委員会 令和5年3月定例会
  - ・まちづくりの基本目標4 「市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち」
- ▶ 第6回委員会 閉会中委員会
  - ・まちづくりの基本目標5 「人をすこやかにほぐくむ教育と歴史文化がいきつくまち」
- ▶ 第7回委員会 令和5年6月定例会
  - ・まちづくりの基本目標6 「心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち」
- ▶ 第8回委員会 閉会中委員会
  - ・新たな事業など中間とりまとめ



# 行政視察について

- ▶ 期 日 令和4年11月21日（月）～ 22日（火）
- ▶ 視 察 先 長野県千曲市、長野県軽井沢町
- ▶ 視察目的
  - ・千曲市：総合計画の策定経過と公共施設再編等について
  - ・軽井沢町：総合計画の策定経過とまちづくり等について

# 行政視察について

**第三次千曲市総合計画策定市民会議**

**ワークショップ**

千曲市の未来を考えるワールドカフェ

千曲市では、市民の意見に基づき千曲市総合計画策定に際し、市民の皆さんと市の将来を共に考える「まちづくりワークショップ」を開催します。多様な背景を持つ皆さんがそれぞれの考えを語り合い、まちづくりのアイデアを出し、まちの新しい姿を想像し、話し合っていきます。

テーマ  
「千曲市の良いところや魅力を発信してみよう」「こんな千曲市にしたい」

期日  
第1回 11/29(土) 13:30～16:30  
第2回 11/30(日) 10:00～13:00

会場  
千曲市役所1階がレリア(9番車庫前77号車庫) 会場 千曲市1階(市民会館前車庫裏)

定員 各回各15名程度 対象 千曲市の未来に関心のある方 申し込みは先着順となります

「ワールド・カフェ」という話し合いの形式を用い、参加者の皆さんと一緒に、多様な意見を出し合い、話し合っていきます。

参加費  
無料

申し込み  
お申し込みは、お申し込みフォームから、またはお電話にてお申し込みください。

【お申し込み】  
①氏名 ②連絡先【電話番号/メールアドレス】 ③年齢 ④性別 ⑤参加日

【申込締切】5月20日(木)17:00まで

【お申し込み先】  
千曲市市民会館市民参加課 026-273-1111(内線4131)  
026-273-8787  
seisaku@city.chikuma.lg.jp

※参加費は無料です。お申し込みフォームに必要事項を記入し、お申し込みください。お申し込みいただいた方には、参加費の領収書をお送りいたします。お申し込みいただいた方には、参加費の領収書をお送りいたします。

かるいざわ 軽井沢

おとなになったときの軽井沢ってどうなるんだろう？

みんなの意見 ほしいうちゅう 募集中

5月6日(金)まで

かるいざわ 軽井沢町では、まちづくりを進めるためにも大切な計画となる「第6次長期振興計画」を作っています。これからみなさんが大人へと成長していく間の10年間（令和5年度～令和14年度）の計画となっています。このパンフレットを読んで、みなさんが気づいたことや考えたことを教えてください。

大人の皆様へ

このパンフレットは、「第6次軽井沢町長期振興計画」の実定に当たり、子どもたちの意見を聞くために作ったものです。ぜひ、お子様と一緒に読んでいただき、ご意見をお寄せください。また、大人向けの資料は、軽井沢町ホームページにてご覧いただけます。

軽井沢町総合政策課 0267-45-8504

町ホームページ



# 交通観光特別委員会

## 委員会構成

委員長 吉田 康弘

副委員長 山室 秀隆

委員 石田 義弘 中田 正樹 白井 中

谷口 巧 山田 吉晴

## 交通観光特別委員会の目的

小矢部市の公共交通と観光をテーマに、現状と課題を確認した上でその対策となる施策を提言することを目的とする。

# 小矢部市・砺波市・南砺市の 高校生の通学状況について

単位：人

所在地	学校名	出身中学校所在地				合計
		小矢部市	砺波市	南砺市	その他	
小矢部市	石動高校	146 (28.5%)	76 (14.8%)	21 (4.1%)	269 (52.5%)	512
	小矢部園芸高校	15 (31.3%)	22 (45.8%)	5 (10.4%)	6 (12.5%)	48
	となみ野高校	28 (28.3%)	21 (21.2%)	41 (41.4%)	9 (9.1%)	99
砺波市	砺波高校	63 (11.5%)	222 (40.5%)	148 (27.0%)	115 (21.0%)	548
	砺波工業高校	51 (10.8%)	179 (37.9%)	164 (34.7%)	78 (16.5%)	472
南砺市	南砺福野高校	72 (10.7%)	257 (38.1%)	279 (41.3%)	67 (9.9%)	675

所在地	学校名	3市割合		その他(再掲)
		市内割合(再掲)		
小矢部市	石動高校	243 (47.5%)	146 (28.5%)	269 (52.5%)
	小矢部園芸高校	42 (87.5%)	15 (31.3%)	6 (12.5%)
	となみ野高校	90 (90.9%)	28 (28.3%)	9 (9.1%)
砺波市	砺波高校	433 (79.0%)	222 (40.5%)	115 (21.0%)
	砺波工業高校	394 (83.5%)	179 (37.9%)	78 (16.5%)
南砺市	南砺福野高校	608 (90.1%)	279 (41.3%)	67 (9.9%)

(令和3年度各校学校要覧より作成)

# 交通観光特別委員会の 開催スケジュールについて

開催日	主な内容
令和4年9月定例会 (9月21日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営バス再編(案)【中間報告】について</li> <li>公共交通の利用促進に向けたアンケート調査について</li> </ul>
閉会中委員会 (10月14日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を取りまく様々な制度について</li> <li>市営バス再編(案)【中間報告】の追加説明について</li> <li>市営バス相互乗り入れ実現に向けてのプロセスについて</li> </ul>
閉会中委員会 (10月26日開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施策について</li> <li>公共交通の利用促進に向けたアンケート調査の集計結果について</li> </ul>
行政視察 (11月22日実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数町村による公共交通の連携について</li> </ul>
令和4年12月定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいの風とやま鉄道、石動駅駐車場の利用実態について</li> <li>スクールバス運行について</li> <li>これからの観光行政について</li> </ul>
閉会中委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県議会総合交通特別委員会における議論について</li> <li>観光行政における優先課題について</li> </ul>
令和5年3月定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通・観光行政(3大祭り)にかかる令和5年度予算編成について</li> </ul>
閉会中委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域観光について</li> </ul>
令和5年6月定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通計画策定スケジュールについて</li> </ul>

# 行政視察について

- ▶ 期 日 令和4年11月22日（火）
- ▶ 視 察 先 愛知県設楽町
- ▶ 視察目的 複数町村による公共交通の連携について

# 行政視察について

平成29年度「交通不便地域の住民サービスを考える」資料

北設楽郡公共交通システム  
おでかけ北設

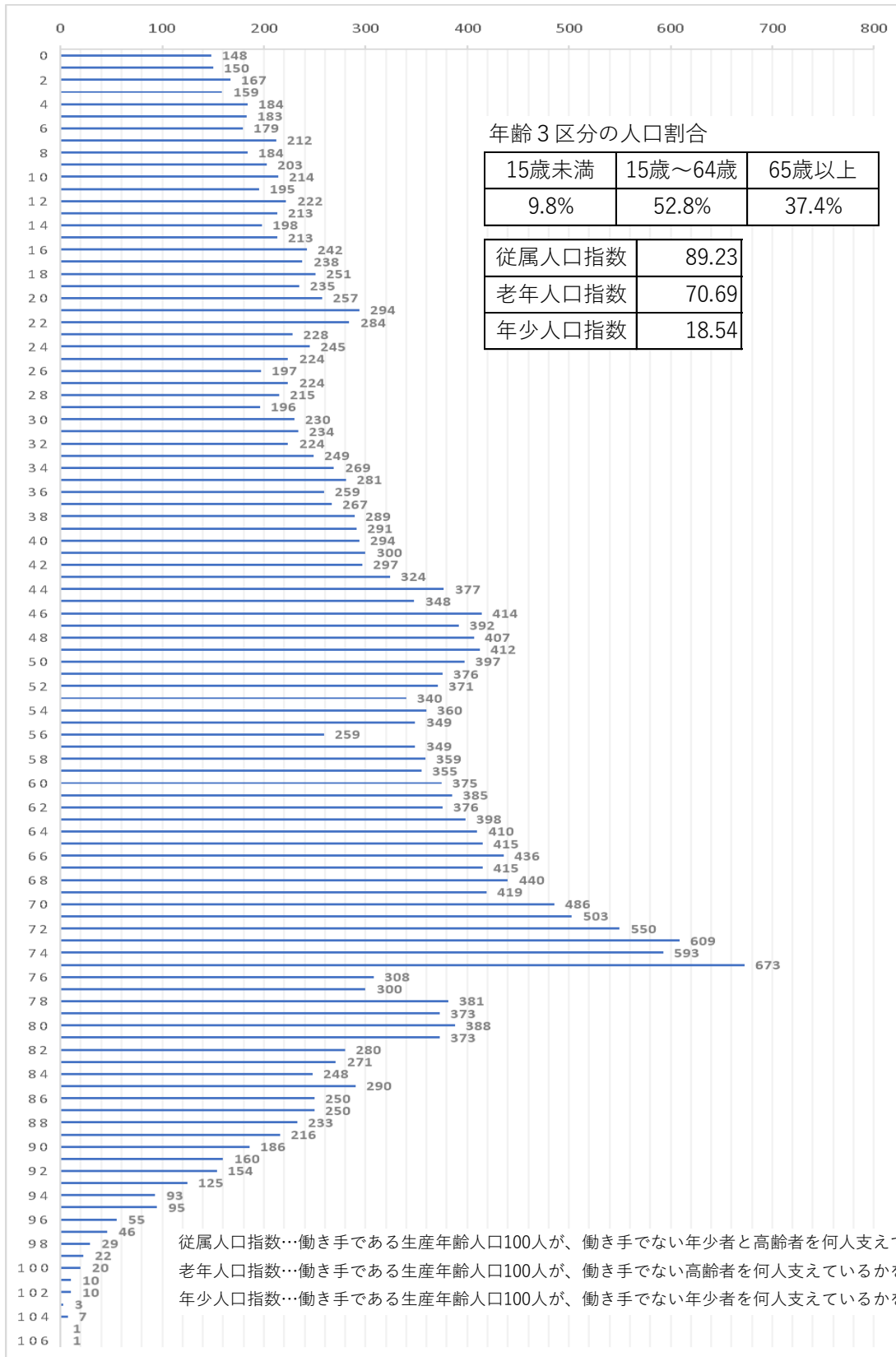
**町村の枠を超え、一つの生活圏として  
機能する公共交通ネットワークづくり**  
～いつまでも暮らしていける地域を支えるために～



平成29年12月7日  
北設楽郡公共交通活性化協議会

議会報告会 2022～議員と語ろう みらいトーク～  
ワークショップ形式による意見交換 参考資料

令和4年11月1日現在の小矢部市の年齢別人口



## 小矢部市の人口動態の推移

各年12月31日現在

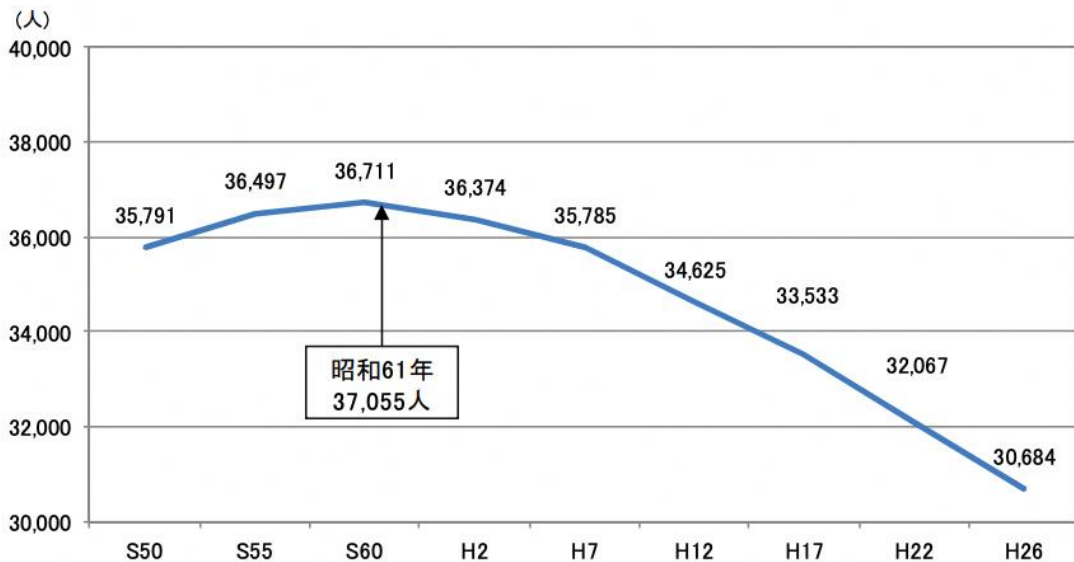
年次	自然動態（人）			社会動態（人）			婚姻 件	離婚 件
	出生	死亡	差引	転入	転出	差引		
平成 24	199	443	△ 244	551	701	△150	122	35
25	193	409	△ 216	663	716	△53	143	28
26	171	453	△ 282	609	693	△84	142	21
27	197	405	△ 208	812	779	33	170	31
28	199	404	△ 205	668	845	△ 177	175	25
29	166	423	△ 257	710	746	△ 36	161	23
30	187	428	△ 241	702	771	△ 69	152	25
令和 元	142	425	△283	717	794	△77	128	25
2	159	407	△ 248	643	719	△76	105	26
3	143	422	△ 279	589	792	△ 203	102	18

資料：住民基本台帳（市民課）

※ 平成24年7月 住民基本台帳法改正（外国人住民を含む）

----- 以降資料 小矢部市人口ビジョン（平成27年10月）より抜粋 -----

## 小矢部市の人口推移



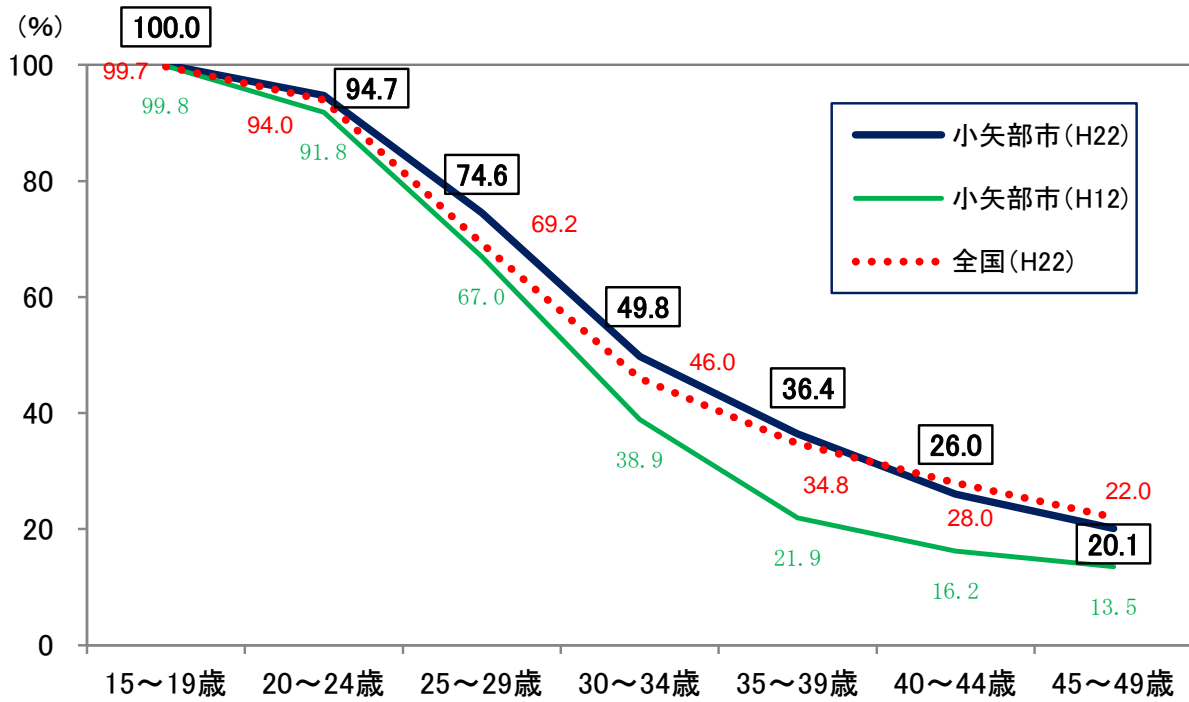
資料：国勢調査及び人口移動調査

## 合計特殊出生率の推移

	平成10年度～ 平成14年度	平成15年度～ 平成19年度	平成20年度～ 平成24年度
小矢部市	1.39	1.40	1.38
富山県	1.42	1.35	1.39
全国	1.34	1.30	1.38

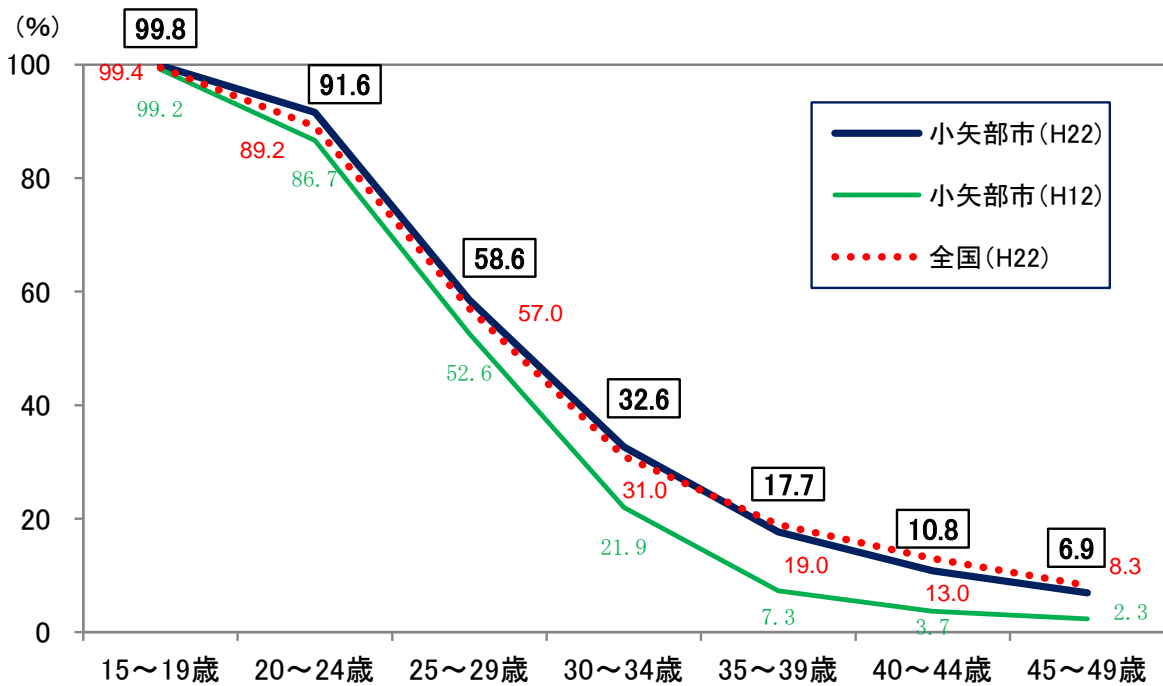
資料：人口動態統計

### 年齢別未婚率（男性）



資料：国勢調査

### 年齢別未婚率（女性）



資料：国勢調査

## 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による推計

### ①概要

主に平成 17 年(2005 年)から平成 22 年(2010 年)の人口の動向を勘案し、平成 72 年(2060 年)までの将来の人口を推計。

#### <出生に関する仮定>

原則として、平成 22 年(2010 年)の全国の子ども女性比(15～49 歳女性人口に対する 0～4 歳人口の比)と小矢部市の子ども女性比との比をとり、その比が平成 27 年(2015 年)以降、平成 72 年(2060 年)まで一定として市町村ごとに仮定。

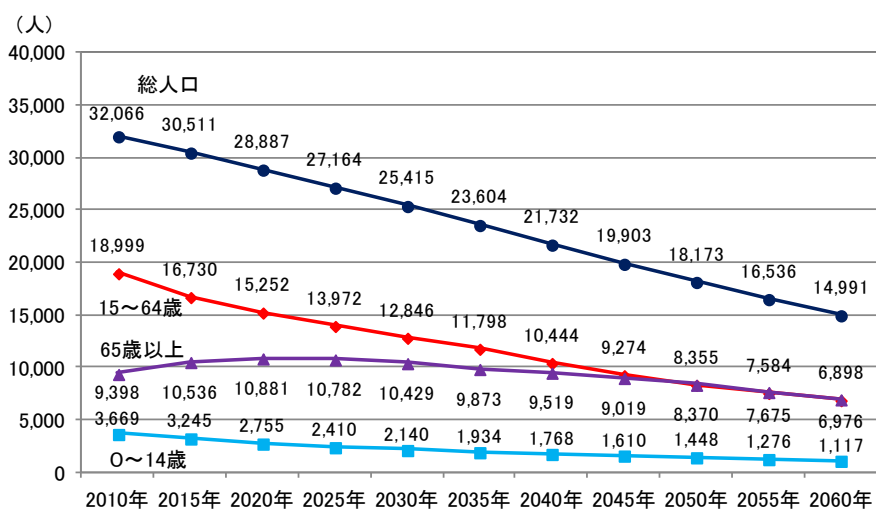
#### <移動に関する仮定>

原則として、平成 17 年(2005 年)から平成 22 年(2010 年)の国勢調査(実数)に基づいて算出された純移動率が、平成 32 年(2020 年)までに定率で 0.5 倍までに縮小し、その後はその値(純移動率)を平成 72 年(2060 年)まで一定と仮定。

### ②推計人口

総人口は、平成 52 年(2040 年)には 21,732 人、平成 72 年(2060 年)には 14,991 人と推計されます。平成 22 年(2010 年)人口と平成 52 年(2040 年)の推計を比較すると、0～14 歳は約 52%、15～64 歳においても約 45%減少すると推計されます。また、平成 22 年(2010 年)人口と平成 72 年(2060 年)の推計を比較すると、0～14 歳は約 70%減少し、15～64 歳においても約 64%減少すると推計されます。また、平成 62 年(2050 年)以降、65 歳以上人口が 15～64 歳人口を上回ると推計されます。

#### ■推計人口(社人研)



## 小矢部市人口ビジョン独自推計

### ①概要

アウトレットモールの開業や企業誘致等の効果により、社会増を上乗せした推計。合計特殊出生率は平成42年（2030年）に1.9、平成52年（2040年）以降2.07に設定。

#### <出生に関する仮定>

段階的に合計特殊出生率が上昇し、平成32年（2020年）に1.6、平成42年（2030年）に1.9、平成52年（2040年）以降、合計特殊出生率が2.07に上昇するものと仮定。

#### <移動に関する仮定>

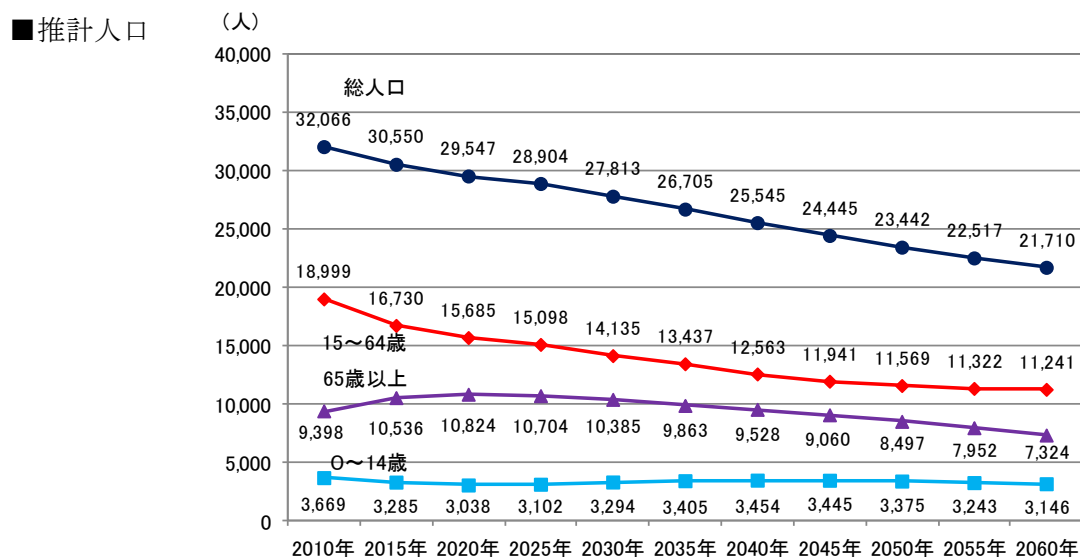
平成27年（2015年）から平成32年（2020年）にかけて、アウトレットモールの開業効果により、男女15～19歳が20～24歳に移行する時、同20～24歳が25～29歳に移行する時、同25～29歳が30～34歳に移行する時、30～34歳が35～39歳に移行する時の社会増計200人。

平成32年（2020年）から平成37年（2025年）にかけては、アウトレットモール効果による前述同様の社会増200人に加え、企業誘致による効果により、男女10～15歳が15～19歳に移行する時、以降55～59歳が60～64歳に移行する時の各年代にわたる社会増300人の社会増合計500人。

全体で、平成27年（2015年）から平成37年（2025年）にかけて社会増合計700人とし、それ以外の年代は平成27年（2015年）以降転入・転出による移動率をゼロと仮定。

### ②推計人口

総人口は、平成52年（2040年）には25,545人、平成72年（2060年）には21,710人と推計されます。平成22年（2010年）人口と平成52年（2040年）の推計を比較すると、0～14歳は約5%減、15～64歳は約34%減にとどまると推計されます。また、平成22年（2010年）人口と平成72年（2060年）の推計を比較すると、0～14歳は約14%減少、15～64歳は約41%減少するものと推計されます。





小矢部市では、ライフスタイルに合わせた各種助成制度を実施し、移住・定住を応援しています。

## 転入・新婚世帯応援メニュー

お問い合わせ 定住支援課 0766-67-1760

支援制度	条件	助成額	転入	新婚
住宅取得助成金	市外からの転入 (転入から3年以内)	上限50万円(住宅取得額の10%) + 児童加算(中学生以下の子ども一人につき10万円)	○	
	新婚世帯 (結婚から3年以内)	上限50万円(住宅取得額の10%) + 児童加算(中学生以下の子ども一人につき10万円)		○
	転入かつ新婚世帯	上限100万円(住宅取得額の10%) + 児童加算(中学生以下の子ども一人につき10万円)	○	○
結婚新生活支援事業補助金	夫婦ともに39歳以下で合算所得が400万円未満の世帯	引越にかかった費用、アパートの共益費、敷金・礼金を助成(上限30万円)		○

## その他住宅助成制度のご紹介(転入の方も、市民の方も使える制度)

支援制度	条件	助成額	お問い合わせ
空き家バンク活用促進事業助成金	空き家バンク登録物件の購入者	上限10万円 (建物の売買代金の10%)	定住支援課 0766-67-1760
空き家バンク活用リフォーム助成金	空き家バンクに登録のある住宅をリフォームする場合	市内業者を利用した対象工事費50万円以上の経費の10%を助成(上限20万円) *工事着工前に申請が必要	
おやべの木利用促進事業補助金	新築・増改築・修繕又は模様替に小矢部市産の木材を3立方メートル以上使用	上限50万円	農林課 0766-67-1760
ベレットストーブ設置推進事業補助金	設置経費補助	上限5万円(1/3補助)	生活環境課 0766-67-1760
高齢者が住みよい住宅改善支援事業助成金	65歳以上の高齢者が居住する所得税非課税世帯	上限30万円(2/3助成) (要介護者等は46万6千円)	健康福祉課 0766-67-8605
在宅重度障害者住宅改善費補助金	重度障害者が居住する住宅で、一定の所得税額以下の世帯	所得税非課税世帯上限90万円、課税世帯上限60万円	社会福祉課 0766-67-8601
下水道水洗化促進助成金	下水道の供用開始から3年以内で、既存の建築物において下水道に接続する排水設備工事を実施された人	上限5万円(1/2助成)	上下水道課 0766-67-1760
下水道(農業集落)排水設備改造資金利子補給金	金融機関からの貸付を受け、下水道に接続する排水設備の改造工事を実施した場合、借入資金の利子に対し補給金を交付	貸付限度額200万円以内の利子額	
合併処理浄化槽設置整備事業補助金	下水道未整備区域に居住する人	区域と人槽により補助	
単独処理浄化槽撤去事業補助金	合併処理浄化槽区域で、既設の単独処理浄化槽を撤去し、合併処理浄化槽を設置	上限9万円	
合併処理浄化槽改造資金利子補給金	金融機関からの貸付を受け、合併処理浄化槽に接続する排水設備の改造工事を実施した場合、借入資金の利子に対し補給金を交付	貸付限度額200万円以内の利子額	
木造住宅耐震改修支援事業費補助金	昭和56年5月31日以前に着工した木造(在来軸組工法又は伝統工法)の一戸建て住宅で階数が2以下、かつ耐震診断の結果「耐震補強が必要」と判定されたもの	上限100万円(4/5補助)	都市建設課 0766-67-1760
富山県木造住宅耐震診断支援事業	昭和56年5月31日以前に着工した木造(在来軸組工法)の一戸建て住宅で階数が2以下のもの	(自己負担額) 2,000円から6,000円	(一社)富山県建築士事務所協会 076-442-1135

## 充実した子育て支援制度・環境 小矢部市で「のびのび子育て」をしませんか？

支援制度	概要	お問い合わせ
不妊治療費助成制度	不妊治療に要した治療費及び検査費などに支払った自己負担金について30万円を上限として助成(年齢等の要件あり)	健康福祉課 0766-67-8606
不育症治療費助成制度	不育症治療に要した治療費及び検査費などに支払った自己負担金について30万円を上限として助成	
出産交通費助成制度	出産や産婦健診時の通院に係る交通費に対し、1万円を上限に助成(1回の出産で1回のみ)	
妊産婦医療費助成制度	妊娠中に定められた疾病にかかった場合、医療費を助成	こども課 0766-67-8603
こども医療費助成制度	中学3年生までの医療費(保険適用分)を全額助成 高校生世代までの入院費医療費(保険適用分)を全額助成	
ひとり親家庭等医療費助成制度	18歳以下の子どもを持つひとり親家庭の親と子どもの医療費を助成	
インフルエンザ予防接種助成	生後6か月から中学校3年生までのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成	
児童手当	中学生までの子どもを育てる世帯に手当を支給	
とやまっ子育て応援券	0～2歳の子どもを育てる家庭に対し、応援券を支給 第1子 1万円分、第2子 2万円分、第3子以降 3万円分	
保育料・副食費助成	第3子以降の保育料・副食費が無料	
誕生祝い事業	特産品であるバラの花束などを贈呈(第3子以降は特産品引換券3万円分を贈呈)	企画政策課 0766-67-1760

### 小矢部市内の子育て支援センター・保育所・認定こども園のご紹介 (お問い合わせは、市こども課 0766-67-8603)

#### ●子育て支援センター

子育て中の親子や家族の育児相談や情報交換を行います。(利用料無料)

待機児童は0人、子育て環境が充実しています

名称	対象者	問合せ先
小矢部市子育て支援センターひまわり	未就園児及び保護者の方、妊産婦の方	石動きらりこども園 ひまわり TEL 0766-67-4330
小矢部市子育て支援センターつぼみ	未就園児及び保護者の方、妊産婦の方	大谷こども園 つぼみ TEL 0766-67-8084
小矢部市子育て支援センターかんがるー	未就園児及び保護者の方、妊産婦の方	蟹谷こども園 かんがるー TEL 0766-69-7524
子育て支援センターあおば	未就園児及び保護者の方、妊産婦の方	石動青葉保育園 TEL 0766-67-0833
子育て支援センターさくらんぼ	未就園児及び保護者の方、妊産婦の方	石動西部こども園 TEL 0766-67-0442
子育て支援センターどんぐり	未就園児及び保護者の方、妊産婦の方	津沢こども園どんぐり TEL 0766-54-5576
わくわく子育て支援センター	乳幼児とその兄弟姉妹及び保護者	わくわく小矢部 TEL 0766-67-5360

#### ●保育所

保護者が就労などの間、保護者に代わって保育します。

名称	開所時間(延長を含む)
埴生保育所	7:00~19:00
水島保育所	7:30~17:15

#### ●幼保連携型認定こども園

幼稚園における教育と保育所における保育を一体的に提供します。

名称	開所時間(延長を含む)
石動きらりこども園	7:00~19:00
大谷こども園	
蟹谷こども園	
石動青葉保育園	7:00~20:00
石動西部こども園	
津沢こども園	

#### ●病児保育

対応型	名称	概要
病児対応型 (6か月児から 小学6年生まで)	おやべにこここども園 (北陸中央病院内)	病気または回復期にある子どもを、保育士や看護師が一時的に預かります。
病後児対応型 (2歳児から 小学3年生まで)	石動西部こども園	病気の回復期の子どもを、保育士や看護師が一時的に預かります。
体調不良対応型 (在園児)	大谷こども園 蟹谷こども園 石動青葉保育園 石動西部こども園 津沢こども園	保育中に体調不良となった子どもを保護者が迎えに来るまで看護師が看護します。

この他、保健師や保育コンシェルジュや子育て支援コーディネーターが子育ての相談に応じます。

ファミリー・サポート・センターや放課後児童クラブも整備され、安心して子育てができます。

また市内全ての小学校に放課後児童クラブが設置されています。

# 小矢部市議会 議会報告会 2022

## 議員と語ろう みらいトーク!



小矢部市議会では、市民の皆さんに、より開かれた議会を目指して、議会報告会を開催します。議会報告と「少子化対策」について意見交換を行いますので、どうぞお気軽にご参加ください。

日時

**11/25** (金) 19:00～20:30 (開場18:30)

会場

小矢部市民交流プラザ 多目的ホール  
(小矢部市城山町1-1)

内容

- 1部 議会からの報告
- 2部 **ワークショップ**形式での意見交換  
(テーマ：少子化対策について)



今回は市民の皆様と議員が「少子化対策」について、ワークショップを通して一緒に考えます。地域課題への共通理解を図るとともに、市民の皆様との意見交換の場とさせていただきます。

対象

どなたでも参加できます

申込

申込み不要

どなた  
でも  
OK

申込  
不要

入場  
無料

主催

小矢部市議会

問合せ

議会事務局

電話 0766-67-1760(内線323)

MAIL [gikai@city.oyabe.lg.jp](mailto:gikai@city.oyabe.lg.jp)

